

# CIPA

## 中国インテリアプランナー協会

Chugoku Interior Planner's Association

<http://cipa21.com>

2009 vol.14

## 通信

communication

〒731-5135

広島市佐伯区海老園 1-13-7

(有)エルイーオー設計室 内

tel : 082-923-2132

fax : 082-922-0018

e-mail : [cipa@cipa21.com](mailto:cipa@cipa21.com)



LC / Chapelle Notre-Dame du Haut (1955年)  
Photograph: Yuji Nakagawa

### 会長のつぶやき

与謝蕪村の全句集2866句をパソコンに取り込んでいます。その内訳は、春の句688+夏の句759+秋の句748+冬の句688です。

気に入った写真が撮れると、すぐさまそれ用の俳句がいくつか浮かび上がり、セレクトおよび修正することによってフォト俳句が完成するという便利な道具を模索しています。しかしながら蕪村の句を理解するためには、その師である芭蕉などの句とか、中国の漢詩、万葉集、古今和歌集などを習得しなければいけないことに気付かされました。はたして私の余命はこれに足りるのでしょうか。

「コルビュジエも

ひねもすのたり 天の海」

(2009 日高卓三)

# Report

## 空き家の三ツ星「ガウディハウス」

インデアンズサマーとかいう秋晴れの初冬の1日、縁あって尾道のお寺巡りでもうまい店巡りでもない空き家巡りツアーに参加した。昔、過疎と高齢化で空き家の雪おろしが困難になった東北の村役場がダメ元で「雪おろし体験ツアー」を企画したら、大当たりして人が集まったという話題があったが、一寸似てないか。怖いもの見たさか見学会は大盛況、もっとも私の場合はどんな口実であれ1日10000歩のノルマがあって、理由は何でもよかった。

犬も歩けば一の喩えどおり（企画者に言わせれば予定どおりか）、三つの発見があった。一つ目は、インテリア学会中四国支部で長年懸案のテーマ「都市のインテリア」の実例が、こんな近くにこんなに完全な形で存在した、ということ。インテリアというとかく発想が内向きになり、若者の引き籠り志向を助長するキラリがある。開かれた発想のインテリア学はあり得るか。尾道の路地ネットワークにその可能性を見た、というわけである。いずれ出直してサーベイしたい。

二つ目は、空き家再生インストラクター園山春二氏の、逆境を楽しむウィットネスとそれを実践してしまうバイタリティーである。＜雪おろし体験ツアー＞では地元の古老がインストラクターを務めたというが、園山氏は大阪万博をプロデュースされた現役のアーティスト、1997年尾道に住民票を移し、住めば都を実践しておられる新住民である。詳細は氏のhpを見ていただくことにして、氏の空き家再生プロジェクトの一つ、ミュージアムカフェ「梟の館」でうかがったお話を受け売りすると・・・メモを取らない性分なので、私が受け取ったメッセージでご勘弁願います。空き家には文化財、古民家、ただの古家と三つのランクがあり、尾道の斜面に残る多くの空き家は、坂道を人力で担ぎあげた細々した材のただの古家、だからこそ、権威にも素材感にも欠ける分、アーティストの出番があるということ。アーティストならではの工事の不備は、温暖な瀬戸内の風光が補っているご様子でした。

三つ目、旧和泉家別宅＜和製ガウディハウス＞は、クライアントの数寄屋趣味が横溢した古民家三ツ星ランクの空き家。保存状態が極めてよいので傷みを修復するだけ、選択肢に悩みはなさそうである。案内人の豊田さんに図面はありませんかと図々しくお尋ねしたらハイと渡された実測スケッチ（1,2階平面図と断面図各1/50）のタッチの素晴らしいこと、習志野市、風組・渡邊設計室の署名がありました。著作権がからみそうな労作をいとも簡単に分けてくださった好意に感謝し、また木造に堪能な渡邊氏の筆跡を学ぶべくJW-CADで浄書してみましたので以下に掲載します。データは人を介して豊田さんにお届けしましたので、工事に入ると不明部分の補筆訂正が進み、完成に近づくとお思います（立面図はだれが起こすのだろう?）。大切に扱ってくださるならCAD図を提供します。ご連絡ください。

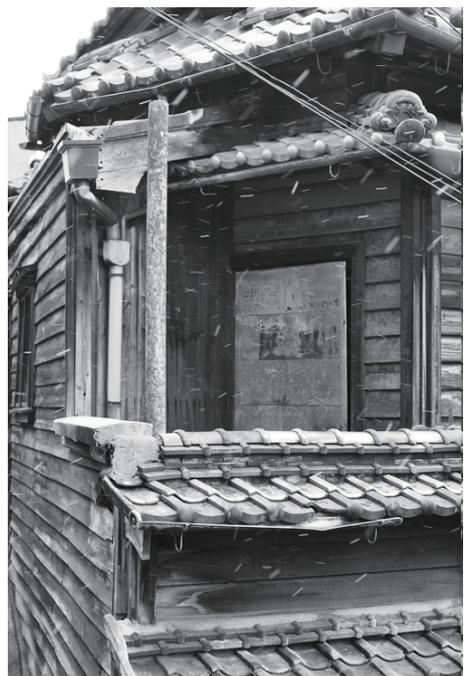
以上三点、私が選んだ見学会トピックスを記しました。いずれも書けと言われなかったら記憶の底に埋没したかもしれない事柄、機会をいただいたことを感謝いたします。

園山春二氏「梟の館」への訪問：

<http://www.nekono-hosomichi.com/top.shtml>

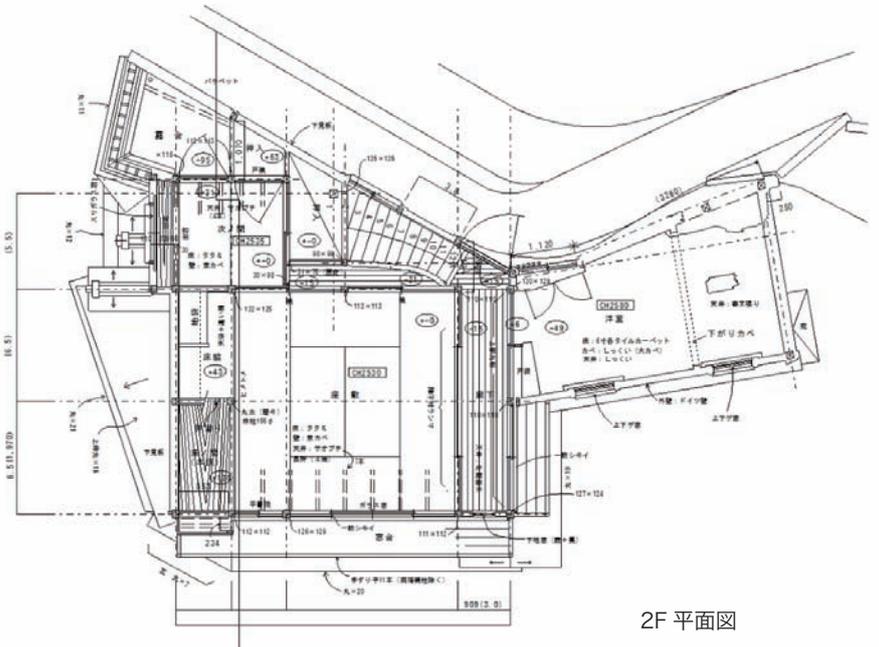
空き家再生プロジェクトへの訪問：<http://www.onomichisaisei.com/>  
ガウディハウス他見学会の映像記録はヤフーで「日本インテリア学会中国」とクリック、開いた支部HPの活動記録、2008末尾「ガウディハウス他尾道・・・」をクリックするとご覧いただけます。

日本インテリア学会中四国支部  
Studio HAIYAMA 灰山彰好

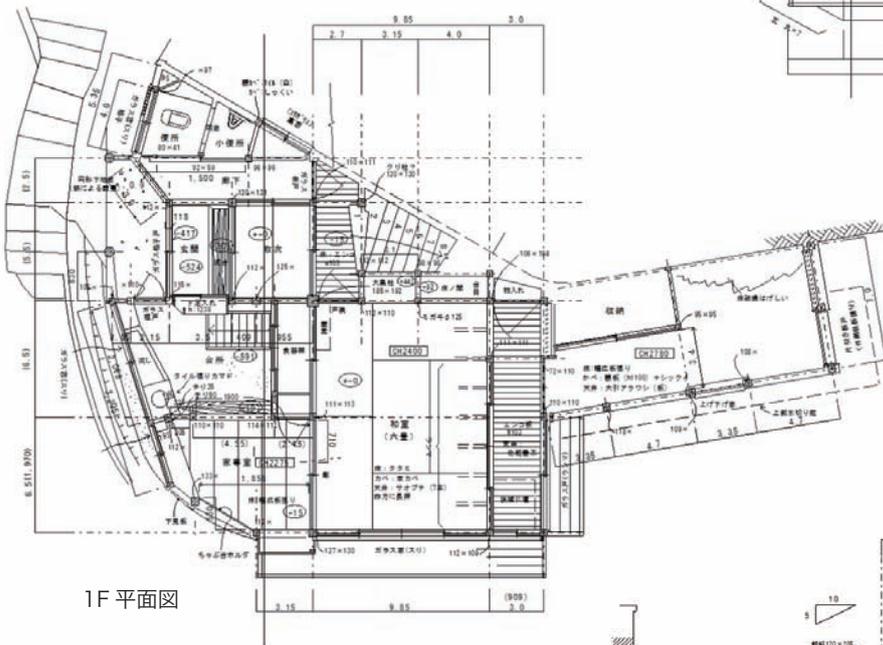


# Report

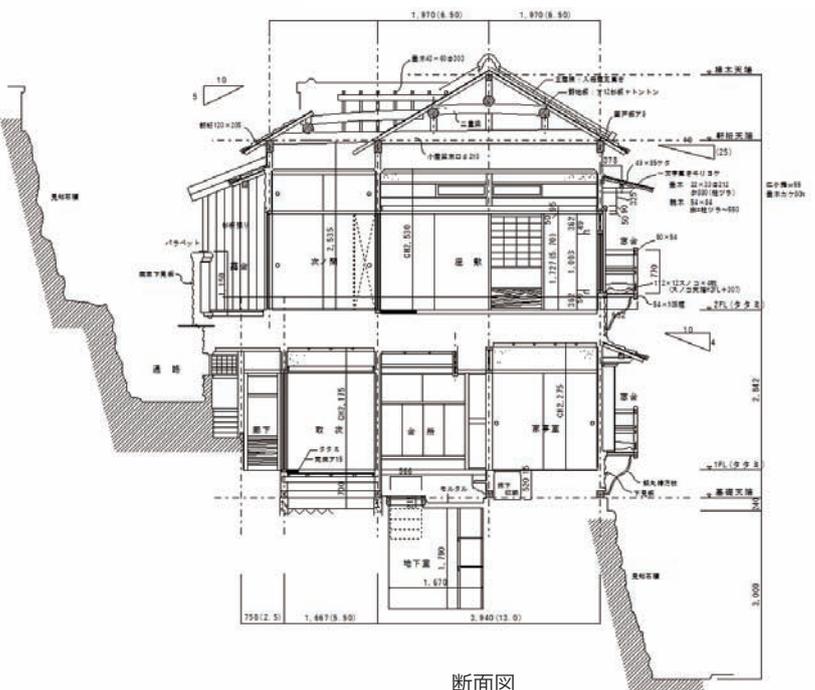
## 空き家の三ツ星「ガウディハウス」



2F 平面図



1F 平面図



断面図

### 見学会

日時：2008.12.6 (sat)

「まるまる尾道、空き屋再生 探索の旅」

- ・尾道空き屋再生プロジェクト見学  
旧和泉家別邸 (通称 尾道ガウディハウス)  
旧北村洋品店
- ・千光寺公園から文学の小道巡り
- ・園山春二氏の再生プロジェクト見学  
尾道アート館  
福石猫神社  
ブーケ ダブルブル 等
- ・園山春二氏講演会

主催：中国インテリアプランナー協会

共催：日本インテリア学会 中国・四国支部

# Report

## 104 ～葬儀場跡地から～

パリに行けば世界に出会える。

パリ市内を血管のように張り巡らされたメトロ（地下鉄）に乗ると、どこの国に旅行に来たのかわからなくなってしまった。スカーフで頭を覆うイスラムの女性、携帯に大きな声をあげて話す中国人、民族衣装をまとった黒人、多種多様な人々が同じ地下鉄に乗り合わせている。これだけ多様な乗客に囲まれていると自分が外国人である事を忘れてしまう。ひどく揺れる車内、乗客は皆一様に青色LEDに照らされた手摺をしっかりと握っていた。

フランスは長く移民外国人を多く受け入れてきた国であり、そのなかでも都市部で仕事もあるパリは群を抜いて移民が多い。それぞれの移民は、それぞれの文化出身国に応じて地域ごとにコミュニティを形成していき、パリ市内は訪れる場所場所によって様々な個性をもっている。

そのなかのひとつ、19区にある104（フランス語でソンヤトル）と呼ばれるアートセンターについて紹介したいと思う。

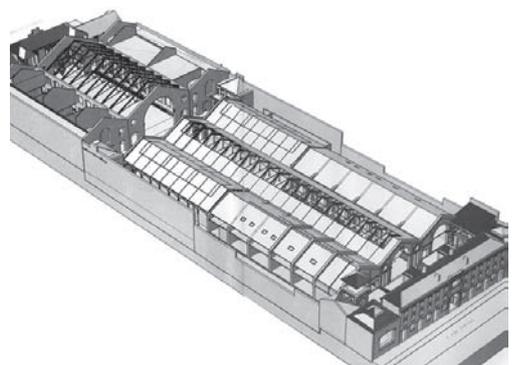
104とは、オーベルブリエ工通り104番地に位置する事にちなんでつけられた名前、敷地16,000㎡の中に延床39,000㎡とパリ市が主導してつくられた施設である。レンガ及び石積みで建物は構成されており、一見すると大規模な工場のようにも見え、ガラス屋根から自然光を採り入れた中央ホールを軸に、左右にアトリエが並ぶ間取りとなっている。中央ホールからはそれぞれのアトリエをうかがい知る事ができ、それぞれのアーティストの活動が直に感じられる。

この施設の歴史は古く、2008年10月アートセンターとしてリノベーションされる前は葬儀場として利用されていた。1873年建てられ1905年パリ市SMPF（共同葬儀公社）を設立、埋葬に関わる仕事を独占して運営されていたのだ。このSMPFができることで、宗教に関わらず全ての死者に葬儀を行う事が可能になった。それまで自殺者や離婚した女性は葬儀を行うことが許されていなかった事には驚きである。建物の中には葬儀課、馬小屋、食堂、美容室、寮まであり、大規模な複合施設として利用され、繁栄期には1400人が働き、年間27000人の葬儀があった。97年に閉鎖されるまで、たくさんの死を見つめ続けた104は、現在アートセンターとして息を吹き返しそうとしている。

104は、外に対して観光客を呼び込む事だけでなく内に対して地域住民とかかわる事から計画が始められた。もともと19区は移民の多い地域であり集合住宅がたくさんあり、裕福ではなく治安も悪い地域であった。パリ市内には芸術の都と呼ばれる程、たくさん美術館ギャラリーが多く存在するが、その多くは有料で富裕層を対象にしたものであり、地域住民がそれらに関わる事は難しかった。そこで104では広く世界から無名の若手アーティストを募集し学生も活動できる場所を提供し、創作活動に没頭できるアトリエを準備した。それらアトリエではアーティストが制作する過程もオープンにされ、訪れた人々は完成品だけでなく作品を鑑賞する事ができる。104が対象としているのは、地域住民や無名のアーティスト学生。大人から子どもまで様々な年代に開かれた場所として使われている。ここを訪れた時、中央ホールで木のカゴの中に小さな植物が栽培されていた。それぞれのカゴには子どもの文字でなにやらメッセージが書かれていた。この展示物はピクニックで果物や野菜を食べた後で、その種を集めて栽培したものらしい。年間を通じて庭作業をしながら食がどこからくるのか子どもたちが学ぶ事ができるようだ。展示のみならず地域住民関わっている事が伝わってくるものだった。

まだできたばかりのアートセンター、地域が芸術家のたまごを育て、世界に発信していけることに期待したい。入場は無料で地域に開放されているのでパリに旅行の際には訪れてみてはいかがだろうか。

ここで、ただひとつ注意しておきたいのがパリは治安が悪く泥棒も多いこと。筆者は帰る日の当日に財布を取られてしまい飛行機で枕を濡らす事になりました。皆様、貴重品は肌身離さず楽しい旅行にお出かけください。



# Report

## JIPA 平成 20 年度北陸大会

「4月11日」

この度の JIPA 全国大会に参加のため、当協会から会長夫妻と上田副会長と事務局総勢 5 名にて出席させて頂きました。メイン会場である金沢市民芸術村は、古い煉瓦造りの紡績工場がみごとに現代的にリニューアルされ、7 つの屋内施設と大広場、加賀伝統工芸を伝承する「金沢職人大学校」を併設されたもので、建物中の一部分では、小学生のグループがなにやら実際に工房で体験学習している様が見え、とても興味深い施設でした。古い桜の大木の下には沢山の花見客で賑わっていました。

こちらの施設のキャッチフレーズは、「糸を紡ぐ工場から、創作の夢を紡ぐ空間へ」

記念講演は、株式会社箔一（金箔）の代表取締役 浅野邦子氏の講演会でした。昔ながらの原料としての箔から、身近なものへの商品開発をし、今では、世界的にも金沢の箔商品と言われるまでに知名度を高められたその功労者の方であり、一主婦から、ここまでの大企業に成長されるまでのご苦労を切々と語られ、今、この時代での仕事の在り方を示唆するとてもタイムリーなお話でした。

「よく、金沢は小京都のようですね！と言われるのですが、この言葉を金沢に住む人たちは、好まないのですよ。京都は公家文化であり、ここ金沢は、武士文化なのですから・・・」その一言が妙に印象に残りました。

翌日訪れた兼六園や古くからの町並みを歩き、改めてその言葉の意味の深さを感じました。

交流会は、ANA の最上階での夜景が見えるレストランで行われました。全国から沢山の人が集まって来られています。アットホームな中、美味しい食事とおもてなしにあっという間に時間がたつてしまいました。

我々は無謀にもこちらには深夜に広島を出発し、金沢まで車で向かいました。広島から 2000 円ちょっとで金沢まで来た事にびっくりし、今まで以上に気軽にどこまでも行ける思いがしました。

日本中から集う仲間達。年に一度、是非皆様もご参加ください。いわゆる目先の観光だけでなく、その地域の人でしか企画できない、よりすぐりの場所や人との出会いがとても貴重な体験になる事でしょう。

2 年後には、JIPA 全国大会が広島で開催される予定です。さてさて、どんな風におもてなししたらいいのでしょうか？ 広島でしか味わえない「とっておき」を皆様と一緒に楽しめる会にできたらと思っています。この度たくさんのおもてなしをくださいました北陸インテリアプランナー協会の皆様には心よりお礼申し上げます。

事務局  
中川圭子

### 平成 20 年度北陸大会

食の文化・伝統工芸の文化・もてなしの文化

- ・会期 2009 年 4 月 11 日（土）～12 日（日）
- ・会場 金沢芸術村 パフォーミングスクエア
- ・日程 4 月 11 日 記念講演会 交流会  
4 月 12 日 見学会



# Planning

## インテリアプランナーとしてのボランティア

アトリエの周りでは四季という大自然のダイナミックな模様替えが始まっています。

透き通るような幼さの残る小さな新葉は、光りを一杯に浴びながら躍動感に満ち溢れ、その青さに新旧交代の美しさと神秘さを感じてしまいます。

役割を終えた葉は最後の余韻を楽しむように風に舞いながら音をたてて落ち、葉は土となってしまいます。自然は葉の営みにも再生の循環を季節と共に繰り返しています。

動植物は土から生まれて土に戻るそして、再び生を受けてこの世によみがえる。仏教で言われる「輪廻」の世界そのもののようです。

インテリアプランナーとして歳を重ねるたびに、次世代の人達のために与えられた職能をどのようなカタチで後世に伝え、最終譜を迎えれば良いのかと。

次世代に担う子ども達に残してやりたいモノは・・・実はこの課題、10年前からのライフワークとなっていました。

日本の気候風土は世界でも稀な豊かな自然と美しい四季の変化をもっています。その気候風土が日本人特有の豊かな感受性や精神性を培い、豊かな精神文化を育んで来ました。しかし、そのモノを感じる感受性も、めまぐるしい社会情勢の中で感じる余裕すらなくなってきたことも確かです。

世界的にグローバルな時代を迎え、私は常々子ども達に残してやりたいモノは・・・子ども達が「日本に生まれて良かった」と思えること、それは日本特有の美しい自然と四季を享受できる豊かな感性ではないかと思っています。「感じる」ことは人間として豊かに生きる知恵や知識を生みだす種子だと思っています。

私達の先人は「三つ子の魂百まで」と三歳までの幼児期が人間にとって最も大切な時期だと後世に伝えています。最近の脳科学や心の問題が科学的に研究され、人間の脳は三歳までが70%が完成すると医学的に言われています。

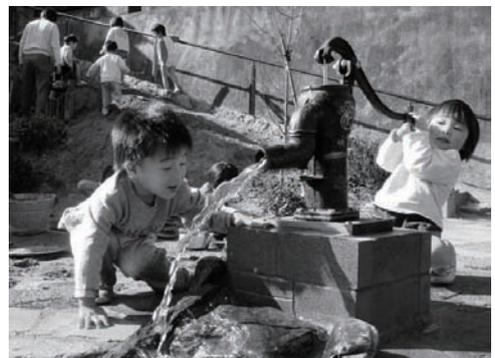
子どもの幼児教育も「知る」と「身体を鍛える」二点が重要視され、「心を育てる」場や環境が少ないように思えてなりません。

子どもの心を育てる環境とは、遊びの中から子どもの意志で感じる「感受性や情緒」・「美しさや感動」が育まれる環境です。それによって日本人独特の豊かな感性が自然と磨かれて行きます。

幼児期は人間として種子を育む土壌を耕し、根っこの部分をしっかり育てる大切な時期なのです。そのために自然の中で十分に遊ばせながら子ども自らの驚きや感動、興味を抱かせ、その遊びを見守ってあげる。そして、遊びに集中させることによって人間としての脳の働きや五感を刺激しながら想像力や集中力、工夫や達成感などを遊びの中から学び、身体もバランス感覚や病気の免疫力や、治癒力、自律神経なども自然と培って行くそんな環境づくりが必要なのです。

そんなことを思っていた時、元宇品に閉園も余儀なくされている無認可の小さな保育園「にこにこ保育園」がありました。そして、元宇品は広島市で唯一砂浜の海岸と原生林に囲まれている処です。訪れてみると10人の子供たちは古い建物と小さな庭で瞳を輝かせながら生き生きと遊んでいます。私達が遊んだ時代にタイムスリップしたような感覚と感動を覚えました。

小さな保育園を手助けせねばとお医者さんと共同でボランティア活動をはじめ、子どもの「人として生きる力」と「感じる心」を育てる環境づくりの挑戦となった訳です。



子どもは本能的に土や水で遊ぶことが大好きです。30坪の小さな庭にはたくさんの樹木が植えられ、木登りもできます。土山や井戸ポンプ、ドロンコ遊びに昆虫観察、0歳児には自分の意志でハイハイできる芝生など、子どもの成長と個性にあった遊びを自ら選び、自由に遊びきる庭づくりです。

子ども達は冬場でも素足に薄着、水遊びにドロンコ遊び、バランス感覚を養う土山ではバケツで水を汲み上げ、ダムや滝をつくってダイナミックに遊んでいます。完成当時は晩秋でしたが冬が過ぎ、新緑の季節となって樹木も草花も育ち、半年も経つと少しずつですが遊びが充実してきているように思います。

保母さんもよっぽど危険性が無い限り遊びに口を出しません。子どものそばに居ながら子どもを見守られている様子です。教えることより子ども自らが遊びを通して体験し、友達と一緒に考え、尊重しながら豊かな感受性を培っています。最も大切な保育をされている訳です。

庭づくりの工事には子ども達の保護者や卒園した子ども達、ボランティアの広島工業大学の学生さん達も参加され、子ども達の喜んでくれる姿を想像しながら楽しい庭づくりとなりました。



カーサ商業建築研究所  
山本 胖

## Release

### LED LINER

本格的間接照明が手軽に得られるコンパクトライン照明

LEDライナーは高効率なLED光源を採用したコンパクトなライン照明器具です。天井、壁のスリット、カウンターやキャビネットの棚下、ベッドボードなどに設置する事により、手軽に本格的な間接照明テクニックが駆使できます。

1台のトランスで最大5台まで連結使用が可能ですので、巾の広い空間や棚にも対応します。LED光源には白色タイプと電球色タイプの2色を用意していますので、シーンに合わせて選ぶことができます。



### ヤマギワ

広島営業所 〒730-0851 広島営業所  
〒730-0032 広島市東区二葉の里1丁目1番68号  
広島パレスビル 2階  
TEL.082-568-5371 (代表)  
FAX.082-262-1011

# Planning

## 松風楼エスカリエ青山

物件名 松風楼エスカリエ青山増築工事  
所在地 広島県呉市青山町5番1号  
用途 結婚式場  
面積 124.33㎡(建築面積) 155.63㎡(延床面積)  
構造規模 木造 一部RC造/地上2階建  
主な仕上 床:フローリング貼/タイル貼  
壁: AEP塗装/メラミン化粧板貼  
天井: AEP塗装/梁現し

広島県南西部に位置する呉市、その呉を一望できる小高い丘の上にチャペルが完成しました。

既にレストラン・ゲストハウスとして営業している建物が存在しており別棟として、結婚式を行えるチャペルを新たに作りたくと依頼を受けました。

既に存在する建物と新たに増築する建物。その関係性とアプローチをどうするか試行錯誤して出た答えは、建物と建物を無数の列柱が並ぶ回廊でつなぎ、建物内のバージンロードへと続くように演出しました。イマジネーションの元となったのは、伏見稲荷大社の千本鳥居(千本ではなく実は数千本あるらしい)。今回のチャペルではその鳥居をRCの列柱に置き換えて、柱は構造耐力を確保しできるだけ細く設定し、その間隔も密にすることで、回廊内に入る光をより繊細にしました。日没間近の太陽、回廊に横から差し込む光が、列柱の繊細な影を映しバージンロードへと続く回廊を演出します。回廊の列柱は梁下で2000と人が通れるギリギリの高さに設定。チャペル歩いていく二人が、回廊を通り抜けるような感覚ではなく、列柱の間をくぐり抜けてチャペルへとアプローチします。

建物内部は客席と廊下を仕切るパネル(W6400H2500)は、2枚のスプルーブ積層パネルに無数の穴を開けて、それぞれ重ね合わせ可動できるようにしました。状況に応じて開けたり閉じたりできるように、パネルを閉めた状態では穴同士がずれて向こうが見えなくなり、パネルをずらせばそれぞれの穴同士が重なり向こうが見える状態になります。いわば複数の丸穴を開けられた、無双窓といえるでしょう。

祭壇には光を制御する可動式パネルがあり、十字架に光が差し込むパネル(キリスト教式)、3つの丸から光が差し込むパネル(神前式)、電動式スクリーン等々状況に応じて対応できるようになっており、全て開放時には呉の景色が一望できます。

建物外観は矩勾配の屋根形状で、小高い丘の上でチャペルの△の型が、遠くからでもうかがえます。

これからこのチャペルが呉の新しいシンボルとなっていければと思います。

エルイーオー設計室  
中川裕二



祭壇部 可動パネル

祭壇部に差し込む光を演出する。



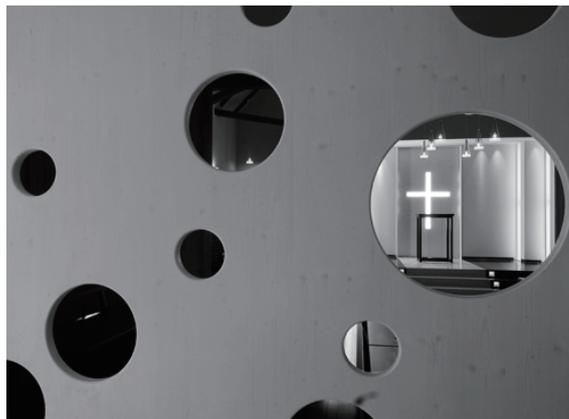
建物外観

ライトアップによって建物を浮かび上がらせている。



回廊部 列柱

バージンロードへと続く列柱。



可動パネル

内部とエントランスを間仕切る大きな可動パネル。

# IPEC

INTERIOR PRO EX CO 2009

インテリアのプロと企業をつなぐ国際展示会とセミナー  
2009年11月11日(水) ~ 13日(金)  
東京国際展示場(東京ビッグサイト)

## IPECとは

IPECは、今までの他の展示会とは異なり、インテリアプランナー、インテリアデザイナー、インテリアコーディネーターをはじめとしたインテリア・建築のプロフェッショナルを来場者対象とした質の高い展示会を目指しています。そのため、商品そのものではなく、プロが求めるインテリア・建築に関する材料・製品・システム・空間などの計画・技術情報の開示を展示する、プロとプロの交流の場となっています。

2009年11月11日~13日10時~18時(最終日17時)

会場:東京ビッグサイト(西展示棟及びアトリウム)

主催:日本インテリアプランナー協会(JIPA)

同時開催:JAPANTEX2009

インテリアフェスティバル2009

## NEWS

### 試験合格者のご紹介

中国インテリアプランナー協会主催、インテリアプランナー試験直前講座が始まりました。そのうち中四国エリアの合格者の方のご紹介です。

#### ターナー仁美さん(インテリアプランナー)

「米軍基地内という少し変わった環境でアメリカ人を対象に商業デザインを行っております。インハウスのデザイナーであり、他のプランナーの方々と接する機会が今まで殆どなかったため、今回正会員として迎えていただいて、先輩方からいろいろとご指導を頂けたらと思っております。」

### 編集後記

92歳のおばあちゃん(義母)がぼつりと庭の蓮鉢を見ながらつぶやいた。

「不思議なんだよね~毎年6月1日になると必ずこの鉢に一輪の蓮の花が咲くんだから...」

不思議な事にどんなに気候変動が起きようと、我が家の蓮の一番咲きは6月1日なのだそう。

自然の摂理と人間の摂理には大きな違いがありそうである。さてさて、先日のミニレクで、美しいデザインをする為にも『正しい皮膚感覚』を身につけようと思ったのだが、人も、自然も『諸法実相』(しょほうじっそう) つい目の前にある事に今更ながらに気づかされた一日であった。

事務局

## 法人会員紹介

### アイカ工業株式会社

730-0037  
広島県広島市南区霞2-9-10  
T:082-254-1311  
F:082-255-8817  
<http://www.aica.co.jp/>

### 株式会社ウッドワン

738-0022  
広島県廿日市市木材港南1-1  
T:0829-32-9833  
F:0829-32-9839  
<http://www.woodone.co.jp/>

### 株沖田

730-0053  
広島県広島市中区東千田町2-3-17  
T:082-243-1101  
F:082-247-6237  
<http://okitahome.com/>

### 株式会社 山王

831-0008  
福岡県大川市鐘ヶ江709-1  
T:0944-87-9100  
F:0944-86-5805  
<http://www.sannoj.jp>

### 西武株式会社

730-0843  
広島県広島市中区舟入本町18-3  
T:082-292-9740  
F:082-295-0073  
<http://www.seko.co.jp/>

### 大光電機株式会社

730-0813  
広島県広島市中区住吉町16-3  
T:082-247-6711  
F:082-249-5472  
<http://www2.lighting-daiko.co.jp>

### 株テックス

732-0052  
広島県広島市東区光町1-6-8  
T:082-263-4554  
F:082-263-7558  
<http://tex-21.com>

### トーソー(株)

733-0037  
広島県広島市西区西観音町9-7 1F  
T:082-232-0439  
F:082-232-0432  
<http://www.toso.co.jp/>

### 株式会社 PathGate

731-5145  
広島市佐伯区隅の浜2-1-7 藤田ビル  
T:082-921-7171  
F:082-921-7171  
<http://www.pathgate.jp>

### ヤマギワ株式会社

732-0057  
広島県広島市東区二葉の里1-1-68 2F  
T:082-568-5371  
F:082-262-1011  
<http://www.yamagiwa.co.jp>

法人会員リストです。  
50音順で掲載しています。

## バルセロナからの寄稿「屋上の活用」

建物には必ず屋上があるもので、このスペースをどう活用するか。スペインでは建物の温水消費量の一部を屋上設置の太陽熱温水器でまかなうことが義務付けられています。電気発電用のソーラーパネルも紹介されていますが、こちらは充電器が現状ではまだ高額なため、普及にはしばらく時間がかかりそうです。



2006年に竣工した小学校のプロジェクトでは、屋上に使用済みのセラミックの破片を敷き詰めました。こちらは屋上の防水シートの保護を廃物で活用した例です。

そして屋上庭園。屋上緑化は私も9年前の大学院の講義でも受講したとおり、決して目新しいテーマではありません。ご存知のとおり屋上緑化には、都市のヒートアイランド現象の改善、建物の断熱性、保水力の向上等に効果があり、昨今世界的に多くのプロジェクトで採用されています。

事務所が手がけている2つのプロジェクトに屋上庭園が採用されています。1つは汚水処理施設の屋上。緑化面積は3,500m<sup>2</sup>。屋上への一般のアクセスは規制されているので、土壌重量が軽くて済む(土壌厚5cm-10cm) Sedum (セダム) を採用しました。セダムはベンケイソウ科に属する多肉植物で、アジア、ヨーロッパ、北米大陸など世界各地に分布し、岩盤面の隙間のような、乾燥かつ貧栄養状態にあるわずかな土壌でも生育可能な丈夫な植物です。乾燥、低高温、塩害、アルカリ性に強く、屋上緑化に適した植物と考えられています。ただヒートアイランド対策には効果薄との報告が昨今なされています。



もう一つはバルセロナ区民図書館の屋上。緑化面積650m<sup>2</sup>。こちらは図書館が既存のカルチャーセンターに隣接しており、カルチャーセンターへのアクセスが図書館の屋上を利用することになるため、屋上を公共広場として開放することになりました。幼児のための遊戯施設、砂場、芝生のエリア等が設けられています。土壌重量は土壌厚20-30cmとセダムに比較すると重くなります。

さて屋上に続いては、壁面緑化でしょうか。パリの Quai Branly 美術館、マドリッドの Caixa Forum Madrid など施工技術はかなり安定したものになっているようです。ただしこちらは Patrick Blanc にかかなりのパテント料は持っていかれそうですが。上も下も、右も左も緑。悪くない話です。

ランドスケープ・アーキテクト/バルセロナ在住  
飯富美香

## 〈平成20年度 中国インテリアプランナー協会活動記録〉

- 2008.6.14 パネルディスカッション  
「壁に穴を開ける」 灰山彰好氏
- 2008.7.11 第10回ミニレクチャー  
「生活を工夫する、余地ある道具たち」 石田和人氏
- 2008.10.3 第11回ミニレクチャー  
「模型制作の手法」 西村正弘氏
- 2008.10.24 第12回ミニレクチャー  
「リフォームの施工事例について」 森隆氏
- 2008.11.19~22  
IPEC-2008
- 2008.11.29 講演会  
「江戸とサステナブル」 中村芳久氏
- 2008.12.6 見学会  
「まるまる尾道、空き家再生 探索の旅」

## 〈平成21年度 総会のご報告〉

6月6日(土) 16:00~17:00

- 岡山県岡山市北区下石井 2-6-41
- ピュアリティまきび  
平成20年度活動報告及び会計報告
- その他
- 平成21年度活動計画及び予算案の承認
- 平成21年度総会を上記の要領で開催致しました。  
会員の皆様に多数ご参加頂きありがとうございました。

## 〈事務局より〉

- ・平成20年度会費未納入の方は、早急に納入下さいますようお願い致します。
- ・住所変更、事務所移転等ありましたらお知らせください。
- ・新会員募集  
当協会では新規ご入会の会員を募集致しております。インテリアプランナー資格者の方をご紹介くださいますようお願い致します。
- ・国民健康保険にご加入の方へ  
CIPA 会員で加入条件を満たす方は、「文芸美術国民健康保険」に加入することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。  
<http://www.bunbi.com>
- ・平成21年度インテリアプランナー試験対策用テキスト頒布  
インテリアプランナー試験参考書のお申し込みは関西インテリアプランナー協会宛をお願い致します。詳細はホームページでも確認できます。

fax:06-6266-5745

<http://www.jipa.net/kipa>

## 〈(財) 建築技術教育普及センターより〉

平成20年度 インテリアプランナー試験の結果

	学科試験	設計製図試験
受験者数	651人	545人
合格者数	436人	165人
合格率	67.0%	30.3%

発行：中国インテリアプランナー協会

〒731-5135 広島市佐伯区海老園 1-13-7

tel: 082-923-2132 fax: 082-922-0018

<http://cipa21.com> mail: [cipa@cipa21.com](mailto:cipa@cipa21.com)

発行日：平成21年6月